



## 1年生の皆さんご入学おめでとうございます。1学期がスタートしました。

5月24日令和2年度第21回入学式が行われました。様々な制約がある中でしたが、1年生47名の子供たちは、大変落ち着いた態度でした。きっとドキドキしたと思いますが、呼名の返事「はい」やお話を聞く態度がとても立派でした。



翌日から、待ちに待った1学期がスタートしました。とは言え、新型コロナウイルス感染症の蔓延を防ぐ新たな学校生活の仕方を実行していかなければなりません。

始業式に私からは、「落ち着いて行動する力」「考える力」「人を思いやる心」を鍛えていきましょうと話しました。さらに、どんなふうに工夫していったらいいか、子供とも考えていきたいと思えます。

今後、教職員は、朝の健康チェック、3密を防ぐ生活の指導や授業の工夫、給食の配膳や給食時の2度目の健康チェック、下校後の消毒作業など、これまでになかった新たな業務にも携わっていきます。(教職員の給食を食べる時間を何とか確保をしなければ…と思案中です。)また、熱中症防止にも配慮が必要です。なかなか大変ですが、「子供たちの安全と健康そして何より笑顔」のために頑張っていきます。

保護者の皆様にもお願いすることが多く、申し訳ありません。感謝しています。これからも是非よろしくお願ひします。

授業は、休業中に予習してもらったことがどのくらい定着しているかをはかることから始めていきます。長い休業明けですので、子供たちの心が、日常を取り戻すまでに大人の見守りが必要だと思います。生活面でも学習面でも、気になることは、些細なことと思わず、是非ご連絡をください。



6年生の授業風景。学校の様子をHPでも少しずつ紹介をしています。ご覧ください。

## もし、感染者になってしまったら…

毎朝熱を測りながら、私自身もそう考えて、こわくなることがあります。もし私自身が感染者となってしまうたら、学校の子供達はどう思うだろう？たまたまお会いして挨拶を交わしたあの保護者の方は、感染の不安に襲われ、苦しまれるのでは？子供達にも先生方にも、大きな迷惑をかけてしまう？何より、「〇日、スーパーに立ち寄った、その後、美容院に行った、〇日、病院にも行った…。家族の勤め先は…。」こんなふうにプライバシーが暴かれてしまうのかしら。好奇の目にも晒されてしまう…？



無症状の人もいる中で、市中感染がないとも言えません。みんな真剣に気を付けています。落ち度がなくても感染はあるでしょう。なのに、感染したことで、プライバシーを暴かれ、好奇の目で見られ、疎まれ、誹謗中傷を受け、家族までもが阻害どころか、責められる。糾弾される。偏見と差別がずっと付きまとう。純真な子供でしたら、なおのこと、「心に傷」がずっと癒えないことになるかもしれません。こんなことになってしまうことが怖いのです。

もし万が一、身近に感染者や濃厚接触者とされる方（子供を含めて）が出た場合、冷静な対応をしていきたいと考えています。まずは、当事者が、そして家族が、感染者や濃厚接触者となったことで、大変傷つき、悲しみ、苦しんでいることに思いを馳せたいと思います。体調もすぐれないに決まっています。重ねて二本目の矢に射られることになってはいけません。

誰もが「精いっぱい気を付ける。そして、不運にも、罹患してしまったら、その時は、すぐ周りを気にせずに、治療に専念できる。治ったら、日常を当たり前のように取り戻せる・・・」こんなふうに、あれたらと思います。そして、こんなふうに構えていられたら、とても安心です。気持ちが明るくなります。

また、この安心感は、「風邪を引いたみたい。コロナだったら困るから、様子を見ます。」と明言して、自宅で休養できる、無理して活動を共にしないでいられることに通じます。蔓延防止にもつながります。

コロナ禍は「人としてどうあるべきなのか」を私たちに問うている、そんな思いで

います。

～お願い～消毒液が少しずつ、出回ってきています。**しかし、学校では、小分けにする容器が不足気味です。もしご家庭に不要な空き容器（右写真のような霧吹き用）がありましたら、いただくとありがたいです。**よろしくお願ひします。ありましたら、お子さんに持たせてください。

